

4/25 3月

「改憲発議許さない」一寸又一寸
和じるのひいの」を掲げて「2
〇二二憲法大集会」が五月一日、東
京・有明防災公園で開かれます。
大集会はこれまで、憲法の平和
・民主主義・国民主権の原則を守
り生かすたからこそ、市民と野党
の共闘を大きく発展させた場とな
ってきました。憲法をめぐる情勢
がかつてなく緊迫してくるものと
で、大きな成功が期待されます。

5・3 憲法集会

主張

平和の進路とともに切り開こう

「軍事対軍事」最も危険

ロシアのウクライナ侵略有、国
連憲章と国際法に明確に反する暴
挙です。「ロシアは直ちに撤退せ
よ」「国連憲章を守れ」の一聲で
各國政府と市民が声を一つにする
時です。侵略を止める最大の力
は、アーチン政権を包囲する國際

世論です。そのためには平和主義の
憲法を持つ日本が積極的な役割を
果たさなければなりません。

重大なのは、ウクライナ侵略に
乗じて、「戦争する国」つまりの
加害をたくらむ日本国内の動きが
急速に強まってくるのです。

岸田文雄首相は、3月の自民党

の閣議をましめました。軍事
費を国内総生産（GDP）比2%

以上を急頭に増大させることも組
本維新の会は、「核共有」議論を進
めるべきだと繰り返しています。

「軍事とは軍事で」「核には核
争の話し合いで解決」として平和外
交の努力の積み重ね

をあわててやるのも危険です。
歴史的な対決を勝ちぬき

日本は、憲法の条に戦争放棄と
戦力不保持を明記し、平和的手段
で世界に貢献する決意を表明して
いる国です。いまこそ実感が問わ
れます。軍事対決の悪循環をつづ
けています。お福山元首相や日
本維新の会は、「核共有」議論を進
めるべきだと繰り返しています。

「軍事とは軍事で」「核には核
争の話し合いで解決」として平和外
交の努力の積み重ね

をあわててやるのも危険です。
歴史的な対決を勝ちぬき

憲法施行75年の今年の大集会
は、憲法を政治として生きる
國連の世論を広げ、始める機会で
す。「憲法改憲を許さない全国署
名」は、運動を草の根から推進し
ていく力です。全国で宣伝・署名
を広げる」が求められます。

憲法を廻かせる道を歩むのか、
が重要です。

憲法を全面的に生

大会で自衛隊を憲法の条に明記す
る改憲は「今こそ取り組まなければ
ばかりない課題だ」と明言しま
した。自衛隊が海外で全面的に武力
行使ができるようとする企てで
す。自民党の安全保障調査会は、
相手国の機知だけでなく指揮統制
機能まで攻撃する能力の保有を求
めています。公明党といふことの
通りにしたかった平和主義とは対立の
道です。自民党・公明党といふこと
の理念に沿って、男女差別撤廃、
ジェンダー平等、選択的夫婦別姓
をはじめとする議論をめぐらしくて